国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成２８年３月１８日（金）
国土交通省関東地方整備局
国営アルプスあづみの公園事務所

記者発表資料

国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区、大町・松川地区）が６月１８日（土）に全園開園します。

本公園は、平成 28 年 6 月 18 日（土）に新たに堀金・穂高地区（安曇野市）の「里山文化ゾーン」、大町・松川地区（大町市、松川村）の「自然体験ゾーン」が開園し、全園開園（約 353ha）します。新しい施設の概要をご紹介いたします。

●堀金・穂高地区「里山文化ゾーン（約 49ha）」の概要

堀金・穂高地区の既開園区域の南側に隣接する区域で、懐かしさを感じる里山風景と安曇野の風習・文化にふれあえる場です。春はナノハナ、夏はそばの花、田んぼや畦に咲く季節折々の野草が楽しめ、絶滅危惧種オオルリシジミ蝶の保護育成も行っています。また、古田を活用した農体験プログラムも楽しめます。

●大町・松川地区「自然体験ゾーン（約 142ha）」の概要

大町・松川地区の既開園区域の北～西及び北アルプス源流の乳川右岸に位置する区域で、初心者～経験者までが楽しめるマウンテンバイクや渓流での水遊び、植物や動物とふれあえるネイチャーガイドツァーなど北アルプス山麓の自然を満喫できます。

＊全園開園式典及び開園イベントの詳細等は、後日お知らせいたします。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会 長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場 松本市政記者クラブ、地方新聞記者会、大町市市政記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省　関東地方整備局　国営アルプスあづみの公園事務所 調査設計課長　奈良　憲孝　　電話：0263-83-8671（代表）

（参考）

「国営アルプスあづみの公園」の概要

公園概要

本公園は、長野県北西部の安曇野地域に位置し、長野県内をはじめ、広く大都市圏の人々の多様なレクリエーションニーズに対応することを目的として国が設置する都市公園（国営公園）であり、次の２地区で構成されています。

「堀金・穂高地区」: 失われつつある安曇野の田園風景を保全・復元し、いつでもその風景にふれたり、「安曇野」という地域の自然・文化を短時間で体験できる地区
計画面積約 100ha

「大町・松川地区」: 日本を代表するアルプスの山岳景観につながる良好な自然環境を保全しながら、その自然環境を学び、体験し、参加できる地区
計画面積約 253ha

現在、平成２８年６月の全園開園に向け堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」、大町・松川地区「自然体験ゾーン」の整備を進めています。

（１）公園の位置

交通のご案内
「堀金・穂高地区」
長野自動車道安曇野 I.C から約 8km
（車で約 20 分）
ＪＲ大糸線豊科駅、穂高駅から約 6km
（タクシーで約 15 分）
信州まつもと空港から約 23km

「大町・松川地区」
ＪＲ大糸線信濃大町駅から約 8km
（タクシーで約 20 分）
ＪＲ大糸線信濃松川駅から約 6km
（タクシーで約 15 分）

（２）整備経緯

平成　2 年 11 月　都市計画決定
平成 10 年 10 月　工事着手
平成 16 年　7 月　「堀金・穂高地区」の一部（約 27ha 開園）
平成 21 年　7 月　「大町・松川地区」の一部（約 79ha 開園）
平成 25 年　9 月　「大町・松川地区」の一部（約 25ha 開園）
平成 26 年　4 月　「堀金・穂高地区」の一部（約 17ha 開園）

（３）入園者数

平成 24 年度　約 46.2 万人（HH:28.6 万人、OM:17.5 万人）
平成 25 年度　約 38.5 万人（HH:24.6 万人、OM:13.8 万人）
平成 26 年度　約 37.4 万人（HH:24.6 万人、OM:12.8 万人）
※ （　）内の HH は堀金・穂高地区、OM は大町・松川地区
※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合があります

別添参考資料
・堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」概要（【３／６】及び【４／６】）
・大町・松川地区「自然体験ゾーン」概要（【５／６】及び【６／６】）

参考資料

堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」に整備する主な施設の紹介

□里山文化再生エリア

「里山文化ゾーンの表玄関」と「安曇野らしい農の体験学習活動の場」として、安曇野の「本棟造り」を模した管理棟などの施設整備を行います。

本棟造りの管理棟

修景イメージ

体験学習　実施イメージ

□棚田エリア

ナノハナ、ヒマワリ、レンゲ等による花修景と棚田内を散策する園路を整備します。

棚田内園路（イメージ）

棚田エリア上部からの眺望

□懐かしの風景エリア

「昭和３０年代の安曇野の農風景の再現」をコンセプトに、農家風四阿、水車小屋による修景の整備を行います。

農家風四阿・水車小屋　イメージ

岩原ロゲート棟　イメージ

草太（そうた）　木子（もっこ）

国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」
～里山風景の再生と安曇野の風土の継承～

里山文化ゾーン　空撮写真

里山文化ゾーン全体計画（イメージ）

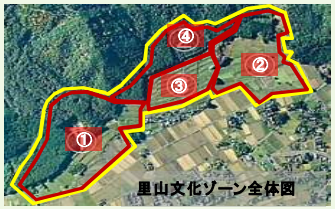
堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」　整備の概要

堀金・穂高地区「里山文化ゾーン」は、平成２８年６月１８日（土）の開園に向け、整備を進めています。

ゾーンの特徴

■下記基本理念に基づく４つのエリアで構成され、広さは約49ha（東京ドーム約10個分）で、安曇野に伝わる懐かしい里山風景を再現

「景・文化の保全と創出」	安曇野に伝わる懐かしい里山風景を再現し、あわせて安曇野を象徴する花の風景を創出
「自然環境の保全」	人の生業のなかで育まれてきた草原環境の再生を通じて地域固有の生き物を保全
「交流・地域活性化」	保全・創出した環境を舞台に、里山で育まれた技能・技術や文化にふれあえる体験・学習の機会を提供



里山文化ゾーン全体図

① 里山文化再生エリア（約21ha）

里山で育まれた技能や文化を蓄積し、再生した古田を活用した田植え体験や貴重な昆虫の観察などのプログラムを通じて体験・学習の機会を提供

古田での田植え作業体験

地域の風習・文化（凍り餅づくり）

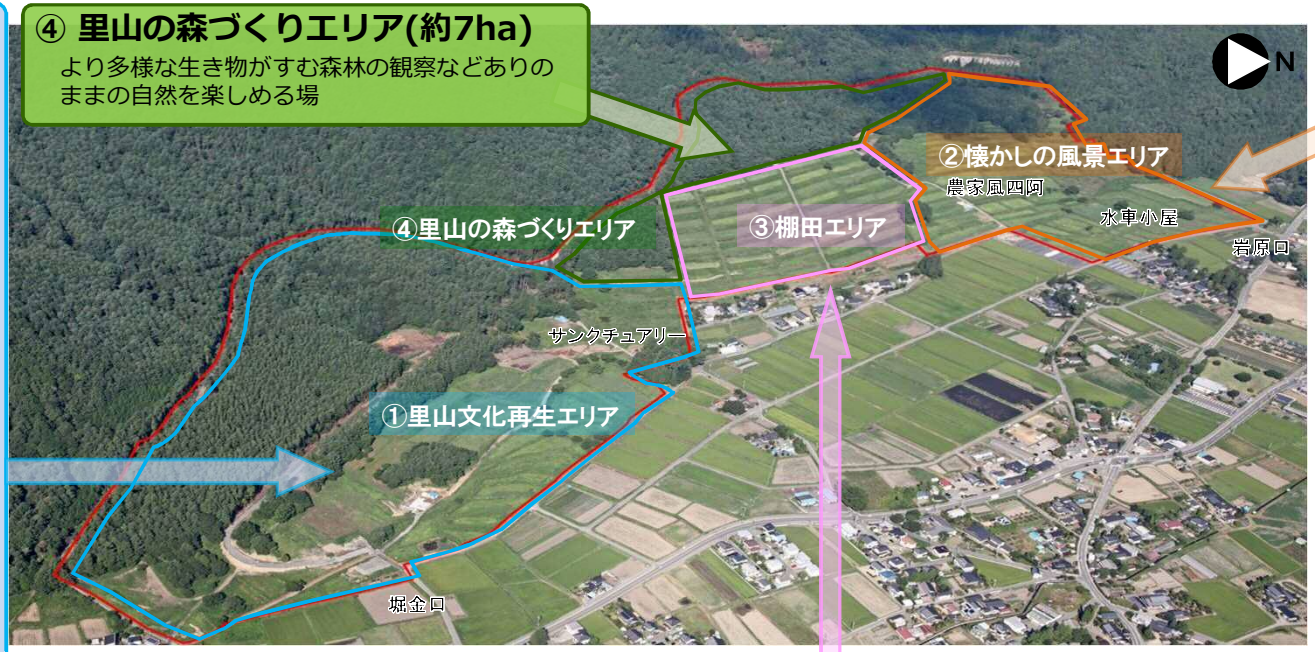
サンクチュアリーと自然観察会

国内でも数少ないオオルリシジミの繁殖環境を保護育生する場

オオルリシジミ

食草のクララ

■自然観察会のイメージ



② 懐かしの風景エリア（約14ha）

既に開園している区域から最も近い入口となるエリアで、県の名勝指定（庭園）の大庄屋山口家の南側に位置。

戦前から維持されている耕作地「古田」の再生や地域固有種の生育環境の保全育成などを通じ昭和30年代の田園風景を再生

古田（ぬるめ※）の再生

※「ぬるめ」
稲の育成に適した水温に高めるための水路やため池の総称。本地区では、水田周りに巡らせた細い堰を「ぬるめ」と呼んだ。

③棚田エリア(約7ha)

かつての安曇野の水田を彩ったレンゲや近年の安曇野の風景を象徴するナノハナ、ソバなど季節の花を楽しむエリア

ソバの花

ヒマワリ

棚田地形での花修景（イメージ）

エリア内に自生する主な希少植物

アマナ

アヤメ

懐かしい田園風景の再生（イメージ）

参考資料

大町・松川地区「自然体験ゾーン」に整備する主な施設の紹介

スポーツと遊びの森エリア

初心者から経験者を対象にした各種マウンテンバイクコースとトレーニングエリアを整備

周回コース（初心者コース）

緩やかな勾配と曲線で構成されるサイクリング感覚で走行可能な延長約2.5kmの周回コース

周回コースの整備状況

チャレンジルート（経験者コース）

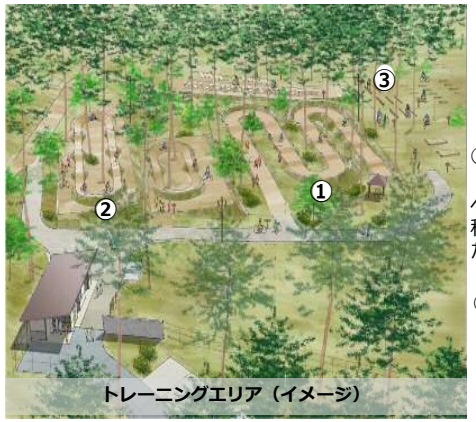
中級者、上級者を対象に上り、下りのアップダウンに富んだ約2kmのAコースと、下り専用でテクニック向上を目的とした戦略性のある延長約800mのBコースの２コース

チャレンジルートA

チャレンジルートB

トレーニングエリア

ＭＴＢ乗車時の体重移動やバランス感覚の取得、向上やランニングバイク（ペダルなし自転車）の練習できる３つのコース



トレーニングエリア（イメージ）

①キッズコース
小学校1、2年生までの年齢層を対象に、ペダルのない「ランニングバイク」の練習コース

②バンプトラックコース
ＭＴＢなど各種バイクで、ペダルをこがず1周し、体重移動などの技術向上を目的したコース

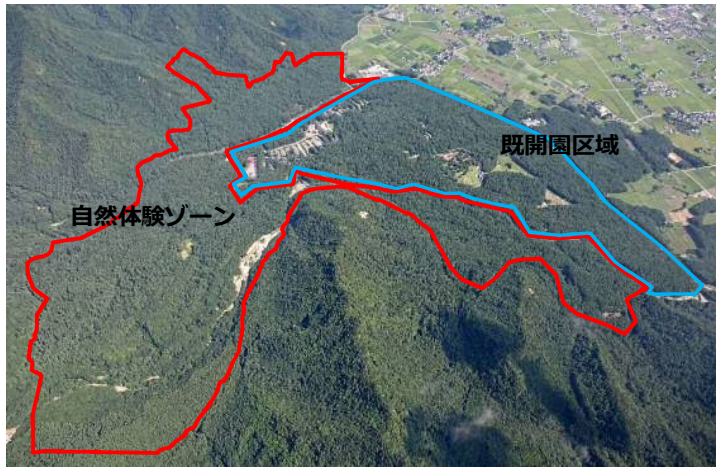
③スキルアップエリア
危険回避に必要なバランス感覚養成を目的としたコース

草太（そうた）　木子（もっこ）

国営アルプスあづみの公園
ALPS AZUMINO NATIONAL GOVERNMENT PARK

大町・松川地区「自然体験ゾーン」

～北アルプス山麓の豊かな森と清流の魅力を～



自然体験ゾーン　空撮写真

川遊びイベント（スプラッシュリバー）

大町・松川地区「自然体験ゾーン」整備の概要

大町・松川地区の「自然体験ゾーン」は、平成２８年６月１８日（土）の開園に向け、整備を進めています。

ゾーンの特徴

■下記基本理念に基づく５つのエリアで構成され、広さは約142ha（東京ドーム約28個分）で自然体験

「自然環境の保全」	公園を取り囲む自然環境との“緩衝帯”として、いまある自然を保全し未来に継承
「交流・地域活性化」	マウンテンバイクや水辺での川遊び、多様なプログラムなど通じて自然を楽しむ機会を提供

大町・松川地区全体図

③ リフレッシュの森・渓流エリア(約49ha)

自然観察や、自然のなかでの健康づくり等のプログラムを通じリフレッシュできる機会を提供

④ 川遊び・乳川河原エリア(約21ha)

乳川の堰堤上の砂州等を活かし、釣り体験、川遊び、シャワーピクニック等の水辺のプログラムを提供するエリア

釣り体験

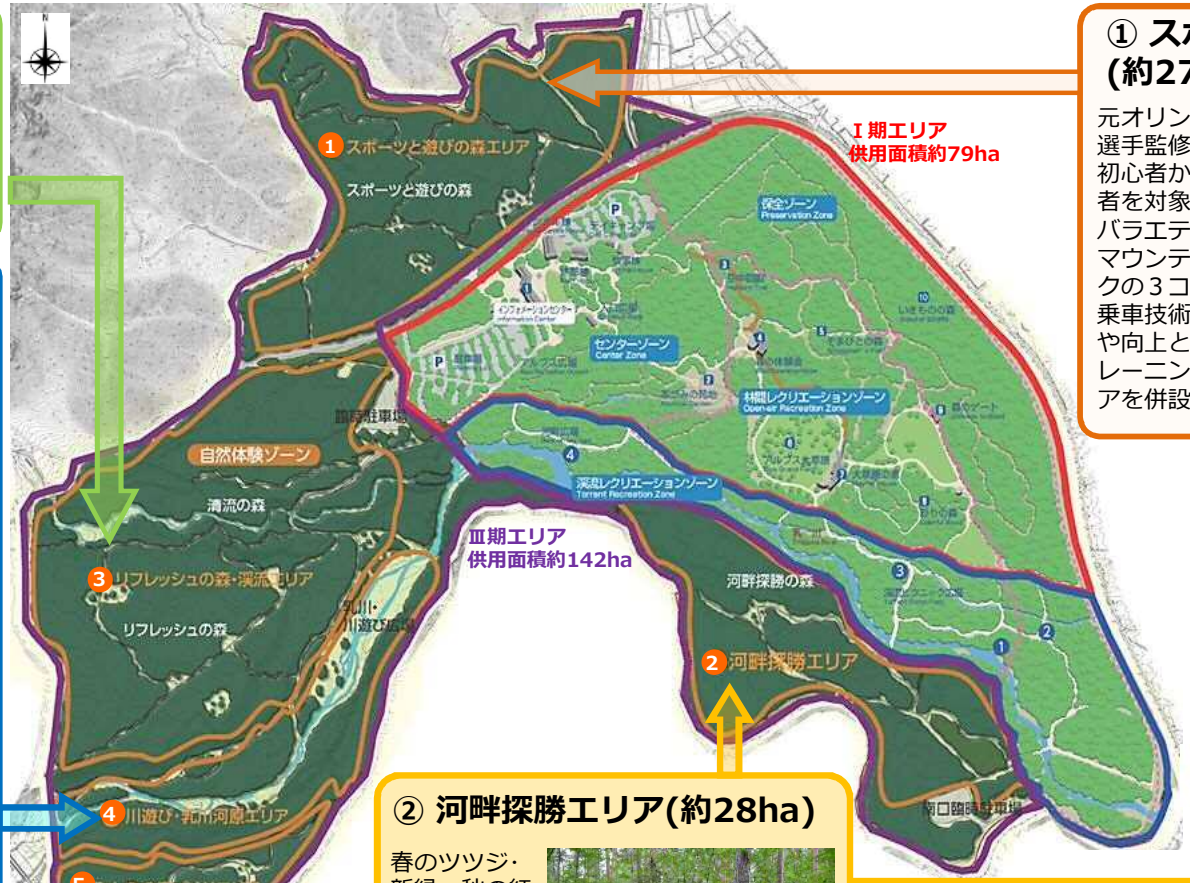
シャワーピクニック

ツリーイングでの渡河体験

いきもの観察

⑤ みんなの森づくりエリア(約11ha)

高密なカラマツ林を大径の樹林、広葉樹の混生する森へ移行させていくエリア



① スポーツと遊びの森エリア(約27ha)

元オリンピック選手監修による初心者から経験者を対象にしたバラエティあるマウンテンバイクの３コースと乗車技術の習得や向上としたトレーニングエリアを併設

周回コース（イメージ）

チャレンジンジコース（イメージ）

② 河畔探勝エリア(約28ha)

春のツツジ・新緑、秋の紅葉等の自然観察やウオーキングにより乳川河畔を探勝できるエリア

自然観察会開催イメージ

春のヤマツツジ

秋の乳川河畔